平成 27 年度　はあもにいウィメンズ・カレッジ　申込書

申込者	ふりがな			
	氏　名			
	生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日（満　　才）		
	現　住　所	〒　　－		
		電話	（　　）　　－	携帯	（　　）　　－
		メールアドレス		
	勤　務　先	名称(会社名、学校名等)	所属	役職
		所在地		

志望動機（200文字程度）

※書面に記載された内容は、本講座に関する目的のみに使用します。

送付先　（直接持参、郵送、FAX、メールでお願いします。）
〒860－0862　熊本市中央区黒髪 3 丁目 3 番 10 号
男女共同参画センターはあもにい　ウィメンズ・カレッジ担当　宛
Fax：096－345－0373　Mail：info@harmony-mimoza.org
問合せ　Tel ：096－345－2550　（9:00-21:00、第 2,4 月曜休館）

政策・方針決定の過程へ あなたの声を届けよう

はあもにい ウィメンズカレッジ

全11回

活力ある熊本の実現のためには、多様な人材の能力や視点を活かし、新たな発想を取り入れていくことが不可欠です。はあもにいでは、熊本市審議会の女性委員登用率UPを目指し、はあもにいウィメンズカレッジを開講します。

全11回の講座では、男女共同参画社会の現状や課題について幅広い分野から学ぶ他、市民活動団体等との交流、審議会傍聴やプレゼンテーション講座など、リーダーに必要とされるスキル習得などに主体的に取り組んでいただきます。

審議委員として自らの経験を活かしたり、声を届けたい方、魅力あるまちづくりに参加したい方、地域や職場で指導的立場にある方、さらにはそのような立場での活躍を目指す意欲のある方の参加を求めます。

期間　平成27年**6月13日**（土）～翌年**3月5日**（土）　午前**10時**～午後**12時半**
※月1～2回、土曜日　　※午後に実施する回もあります。詳しくは、中面へ。

【対象】原則として熊本市在住の18～65歳女性・地域や職場のリーダー　【受講料】5000円
地方公共団体等の審議会委員として活躍したいと考えている方

【場所】はあもにい2F学習室他　【定員】20人（先着順）※託児あり（1歳半～就学前のお子さん：6月2日までに要予約）

【申込】応募用紙（裏面）に必要事項を記入し、郵便または FAX、メール、直接持参で当館へ提出。
応募用紙は HP（http://www.harmony-mimoza.org）からもダウンロードできます。

受付

申し込み
問い合わせ　☎ 096（345）2550

主催：熊本市男女共同参画センター はあもにい　〒860-0862 熊本市中央区黒髪３丁目 3-10

はあもにいウィメンズカレッジ　カリキュラム　全11回

目的　熊本市における男女共同参画社会の実現をめざし、政策や方針決定の場に参画し、活躍できる指導的地位に立つ女性人材の発掘や養成、さらには継続できるネットワークの構築を目的とします。

日　時	内　容	会　場
6月13日（土） 10時～12時半	開講式～①「いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか」 鈴木桂樹氏（熊本大学　法学部　教授）　◇受講生写真撮影	学習室
6月27日（土）★ 13時半～15時半	②「男女共同参画週間・記念講演会」 中嶋玲子氏（NPO法人　住みよいあさくらをめざす風おこしの会理事長）	多目的ホール
7月4日（土） 10時～12時半	③「グループワークの進め方」 澤田道夫氏（熊本県立大学　総合管理学部　准教授）	研修室 A
7月	「くまもと市男女共同参画会議」傍聴	未定
8月22日（土） 10時～12時半	④「熊本市審議会の果たす役割について」　◎グループワーク① 井芹和哉氏（熊本市総務局　行政経営課長）　◇受講生交流会	学習室
9月5日（土） 10時～12時半	⑤「地域づくりにおける男女共同参画の重要性について」 澤田道夫氏（熊本県立大学　総合管理学部　准教授）　◎グループワーク②	学習室
10月3日（土） 10時～12時半	⑥「女性の生き方とワークライフバランス」 八幡（谷口）彩子氏（熊本大学　教育学部　教授）　◎グループワーク③	学習室
10月	「くまもと市男女共同参画会議」傍聴	未定
11月7日（土） 10時～12時半	⑦「プレゼンテーション講座」 林田美恵子氏（コミュニケーショントレーニングセンター代表）　◎グループワーク④	学習室
12月12日（土）★ 10時～15時	⑧「国際社会におけるフェアトレードの意義と熊本市民としてできること」 明石祥子氏（フェアトレードラブランド代表／ フェアトレードシティくまもと推進委員会代表理事）　◎グループワーク⑤ 中間発表会	学習室
1月16日（土）★ 午後	⑨「女性の力が社会を変える（仮題）」＜公開＞ 潮谷義子氏（学校法人日本社会事業大学理事長、前熊本県知事）　◇受講生交流会	多目的ホール
2月6日（土） 10時～12時半	⑩「グローバルウーマンに必須の交渉力」 野田恭子氏（熊本学園大学招聘教授／キャリアウェーブ代表）　◎グループワーク⑥	学習室
2月	「くまもと市男女共同参画会議」傍聴	未定
3月5日（土）★ 午後	第４回ミモザフェスティバル 講座⑪「講演会」＜公開＞　◎グループワーク 成果発表＆修了式 ◇受講生交流会	未定

◎ ★の講座は、午後の時間帯も講座がありますので、ご注意ください。　◎ 期間中、県外へのエクスカーションも予定しています。（希望者）
◎ 本カリキュラムは、事情により、変更になる場合がございます。

第二期受講生の声

女性目線での講義はこれまで初めてで、とても新鮮に感じました。いろいろな立場の受講生がおられて、熊本にもこんなに活躍している女性たちがいるのだなと改めて認識させられました。（50代・主婦）

私にとって大きなターニングポイントになりました。昨今、女性が活躍する社会への機運が高まっています。女性が自分のライフプランを考える上での選択肢が増えたのだと前向きに捉えられるようになりました。（20代・会社員）

グローバルな視点、自らのチカラで伝える能力を身に着けることなど、さまざまなことを教わりました。（40代・経営者）

ただの会社員の私が受講するには、敷居が高く感じていましたが、実際はとても魅力的な講座でした。細かいデータに基づいた専門家の講義はとても分かりやすく、ためになりました。今後も自分が社会にできることを考え、行動に移していきたいです。（30代・会社員）

講師紹介

6月13日（土）

①「いま、なぜ、どんな男女共同参画社会なのか」

鈴木桂樹氏（熊本大学　法学部　教授）

1955年福井生まれ、大阪育ち、広島と名古屋に学ぶ。87年に熊本大学赴任。96年より現職。専門は政治学。総務省熊本行政評価事務所行政苦情救済推進会議座長、くまもと市男女共同参画会議会長など歴任。共著に、『比較安全保障』（成文堂）、『ジェンダーと政治過程』（木鐸社）、『現代イタリアの社会保障』（旬報社）など。

point

1. 男女共同参画の現状が分かる
2. 自分の考えをまとめ、伝えるスキルをプロから学べる
3. 職業・世代を超えた女性のネットワークを構築

7月4日（土）
9月5日（土）

③「グループワークの進め方」 ⑤「地域づくりにおける男女共同参画の重要性について」

澤田道夫氏（熊本県立大学　総合管理学部　准教授）

東京外国語大学卒業。石油公団勤務後、熊本県庁へ。熊本県立大学准教授（2010年4月～）。専門分野：行政学、参加・協働論、組織管理理論。研究課題：地方自治の充実・強化のための方策、参加・協働のまちづくり。社会活動（H26）：熊本市行財政改革推進委員会会長・熊本市区役所等の在り方に関する検討会座長・熊本市東区まちづくり懇話会座長・菊池市行政改革大綱策定審議会会長ほか

10月3日（土）

⑥「女性の生き方とワークライフバランス」

八幡（谷口）彩子氏（熊本大学　教育学部　教授）

熊本市（植木町）生まれ。お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻修了。博士（学術）。熊本大学教育学部教授として小学校ならびに中学校・高等学校（家庭科）の教員養成に携わる傍ら、熊本大学教養科目（社会連携科目）「女性と職業」のオーガナイザー、熊本大学男女共同参画コーディネーターを務める。夫と双子の中学生の4人暮らし。

11月7日（土）

⑦「プレゼンテーション講座」

林田美恵子氏（コミュニケーショントレーニングセンター代表）

元熊本放送アナウンサー。東京アナウンスセンター代表。日本話しことば協会理事。平成5年、熊本市にコミュニケーション・トレーニングセンターを設立。行政・学校・企業で男女共同参画、職場のセクハラ・パワハラ防止、プレゼンテーション、自己表現、リレーションスキル、アンガーマネジメント、親業、話し方・朗読等の講座を展開中。

12月12日（土）

⑧「国際社会におけるフェアトレードの意義と熊本市民としてできること」

明石祥子氏（フェアトレードラブランド代表／フェアトレードシティくまもと推進委員会代表理事）

1994年10月、フェアトレード専門店「ラブランド」をオープン。
2011年6月、アジア初、世界で1000番目のフェアトレードシティ熊本市の実現を果たした。
2014年3月、「第8回フェアトレードタウン国際会議 in 熊本」の実行委員長を務めた。

1月16日（土）

⑨「女性の力が社会を変える（仮題）」

潮谷義子氏（学校法人日本社会事業大学理事長／前熊本県知事）

1939年佐賀県生まれ。日本社会事業大学社会福祉部卒業。昭和39年1月大分県庁入り。昭和47年4月社会福祉法人慈愛園乳児ホーム（熊本）へ勤務、昭和59年4月同園施設長に就任。平成11年3月熊本県副知事、翌年4月熊本県知事就任。平成20年4月熊本県知事退任。平成24年、学校法人日本社会事業大学理事長に就任。現在に至る。

2月6日（土）

⑩「グローバルウーマンに必須の交渉力」

野田恭子氏（熊本学園大学招聘教授／キャリアウェーブ代表／NPOディスカバリーくまもとボランティアの会理事長）

在米27年のキャリアを生かしグローバルな視点から、次世代育成と熊本の観光促進や多文化共生推進に力を入れている。熊本県下で《グローバルホスピタリティー》講座も開催中。今年、国土交通省観光庁より「通訳案内士制度見直し検討委員会」の臨時委員に指名され、観光を通しての地域再生と外国人おもてなしについて意見を述べ、日本観光振興協会の公認講師となった。